

みずほCustomer Desk Report 2022/05/02 号 (As of 2022/04/29)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	-
TKY 9:00AM	130.76	1.0507	137.40	1.2469	0.7111
SYD-NY High	130.95	1.0593	137.97	1.2613	0.7180
SYD-NY Low	129.33	1.0492	136.51	1.2455	0.7059
NY 5:00 PM	129.85	1.0542	137.01	1.2577	0.7059

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	32,977.21	▲ 939.18	日本2年債	-	-
NASDAQ	12,334.64	▲ 536.89	日本10年債	-	-
S&P	4,131.93	▲ 155.57	米国2年債	2.7299	10.15bp
日経平均	-	-	米国5年債	2.9609	11.38bp
TOPIX	-	-	米国10年債	2.9365	10.54bp
シカゴ日経先物	26,765.00	▲ 550.00	独10年債	0.9315	3.90bp
ロンドンFT	7,544.55	35.36	英10年債	1.9065	3.05bp
DAX	14,097.88	118.04	豪10年債	3.1770	8.10bp
ハンセン指数	21,089.39	813.22	USDJPY 1M Vol	11.90	▲ 1.05%
上海総合	3,047.06	71.58	USDJPY 3M Vol	11.41	▲ 0.49%
NY金	1,911.70	20.40	USDJPY 6M Vol	10.80	▲ 0.38%
WTI	104.69	▲ 0.67	USDJPY 1M 25RR	0.13	Yen Put Over
CRB指数	308.27	0.25	EURJPY 3M Vol	11.73	▲ 0.79%
ドルインデックス	102.96	▲ 0.66	EURJPY 6M Vol	11.40	▲ 0.63%

アジア	アジア時間のドル円は130.76レベルでオープン。日本休日となる中、ドル円は朝方に130.37近辺まで下落。その後は切返し130.80まで値を戻したものの、130円台後半では上値の重さが意識され再び下落に転じた。午後からはユーロが対ドルで持ち直すと、ドル売り圧力が波及してドル円も軟調な値動きとなり、130.17の日中安値をつけた後、130.26レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は130.26レベルでオープン。手掛かり材料難で方向感なく推移。130.01レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は130円台後半でスタート。日本祝日で取引参加者が少ない中、ドルの調整売りが進み129.77まで下落。130.49まで買い戻される場面もあったが、その後は伸び悩み、130.01レベルでNYオープン。朝方は米金利の上昇にサポートされ、130.37まで上昇する場面もあったが、ロンドンフィクシングにかけてドルの調整売りが再開し、129.37まで下押し。午後は130円手前まで戻す場面もあったが、引き続き日本の大型連休を警戒した売りが入り、129.33まで安値を更新。終盤は米株の下げ幅拡大を受けて有事のドル買いが強まり、129.95まで反発し、結局、129.85レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.0500付近でスタート。ポジション調整のドル売りが進んだほか、EU圏内のインフレ率加速が意識される中、一時1.0593まで上昇。一巡後、1.0540近辺まで反落し、1.0545レベルでNYオープン。朝方は米金利上昇が重しとなり、1.0510まで下落。午後はドル売り再開時に1.0579まで反発するもレンジを上抜けることは無く、終盤はリスクオフのドル買いが進み、1.0542レベルでクローズ。

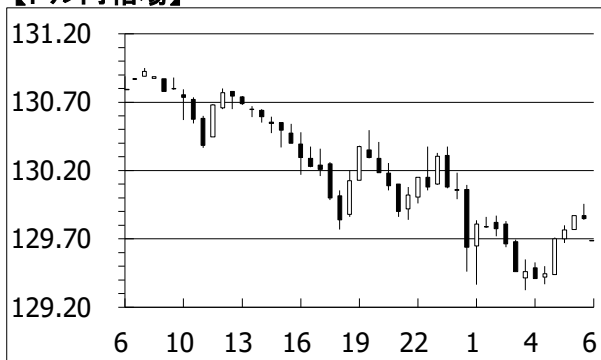
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月28日	-	日	日本銀行金融政策決定会合	金融緩和・連続指し値オペの運用を継続
	21:00	独	CPI(前月比/前年比)・速報	4月 0.8%/7.4% 0.5%/7.2%
	21:30	米	GDP(年率/前期比)・速報	1Q A -1.4% 1.0%
	21:30	米	個人消費・速報	1Q A 2.7% 3.5%
	21:30	米	コアPCE(前期比)・速報	1Q A 5.2% 5.5%
4月29日	18:00	欧	CPI予想/CPIコア(前年比)	4月 7.5%/3.5% 7.5%/3.2%
	18:00	欧	GDP(前期比/前年比)	1Q A 0.2%/5.0% 0.2%/5.0%
	21:30	米	PCEコアデフレーター(前月比/前年比)	3月 0.9%/6.6% 0.9%/6.7%
	23:00	米	ミシガン大学消費者マインド・確報	4月 65.2 65.7
4月30日	10:30	中	製造業PMI/非製造業PMI	4月 47.4/41.9 47.3/46.0

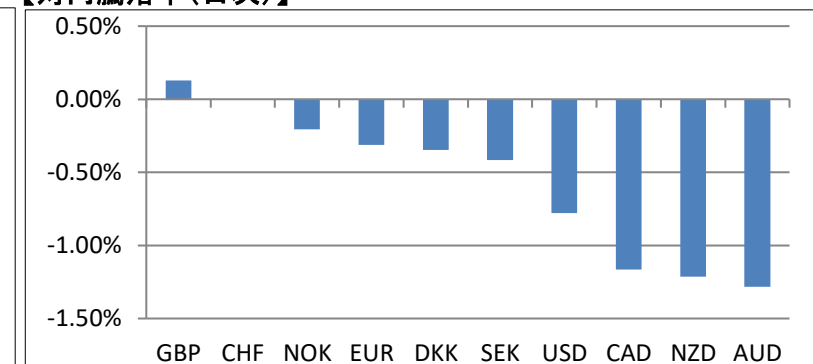
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
5月2日	15:00	独	小売売上高(前月比/前年比)	3月 0.2%/-0.5% 0.2%/6.8%
	23:00	米	建設支出(前月比)	3月 0.8% 0.5%
	23:00	米	ISM製造業景況指数	4月 57.6 57.1

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	129.30-131.30	1.0400-1.0700	136.00-138.00

【マーケット・インプレッション】

28日(木)、128.44レベルでオープンしたドル円は急伸し、20年ぶり高値を更新。日銀金融政策決定会合にて、金融緩和政策の維持や0.25%での指値オペの毎営業日実施を決定したことで日米金融政策の違い・日米金利差拡大が改めて意識され、円売りドル買いが加速した。正午過ぎの急伸後もドル買い優勢が続き、海外時間には一時131円台を付けた。29日(金)は東京休場。前日のドル円上昇は一服し、値を下げて130.00近辺で推移。129.85レベルでクローズした。

本日のドル円は、じり高の展開を予想する。3月PCEデフレーターや3月個人支出など、米国の消費動向が堅調であることが確認された。米金利も高止まりしているほか、135円まで目立ったレジスタンスもないことからドル買い圧力は継続するものと想定される。明日からのFOMCを前にした期待感も、ドル買いをサポートするだろう。一方、本日発表の米4月ISM製造業景況指数が予想を下回った場合には、景気減速のアラートになりうるため注意が必要だ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。